

Ⅲ. 研究

7. 邦文誌編集委員会

委員長 古 森 公 浩

邦文誌（日本外科学会雑誌）について

日本外科学会雑誌は、年間9巻（通常号6巻，臨時増刊号3巻）を発行している。

1巻あたりの制作部数は約38,000部であり，今年度は第114巻第2号及び臨時増刊号（2）の抄録号を会員に配付した。

本誌の充実をめざして邦文誌編集委員会を4カ月に1度開催している。

邦文誌の内容

1. 会員より原稿を募る

症例報告，研究速報，特別寄稿，総説，随筆，提言，学会出席者の感想文，私の療養体験，会員の近況報告，私の作品（写真，絵，短歌，俳句など）

2. 原稿依頼

- a. 特集（第98巻第8号より編集委員により企画）
- b. 会員のための企画（会員に役立つような内容を企画）
毎号，「医療訴訟事例」を掲載している
- c. Editorial（編集委員が執筆）
- d. 手術の tips and pitfalls（図を中心とした手術の工夫やコツ）
- e. 卒後教育セミナーの講演要旨（第48回卒後教育セミナーより掲載）
- f. 特別寄稿（現在話題となっている内容を依頼）
昨年（第113巻）はNP/PAに関することや女性外科医支援などの内容で計14篇を掲載した。
- e. 会員へのメッセージ（第112巻1号より本会各委員長から一般会員へ委員会の現状を報告するための企画）

3. 掲載料金

- a. 総説，症例報告 5万円
- b. 研究速報 3万円
- c. 特別寄稿，随筆，提言，学会出席者の感想文，私の療養体験，会員の近況報告，私の作品（写真，絵，短歌，俳句など）無料。枚数超過の場合は1万円
- d. 学会・研究会案内 1/3頁 2万円

4. 依頼原稿執筆料

会員は5万円，非会員は10万円。（特集の前文や Editorial を執筆する編集委員は無料）

なお，本誌の Quality を向上させるため英文抄録の Check を第99巻第1号より Ms. シンシア氏に1編2,250円にて依頼している。

日本外科学会雑誌（邦文誌）の在り方について

英文誌編集委員会や将来計画委員会と共同して，「日本外科学会雑誌（邦文誌）の在り方についてのアンケート」を実施した。

8. 英文誌編集委員会

委員長 澤 芳 樹

英文誌 (Surgery Today) について

本誌は、年間12冊、電子ジャーナルを含めて約40,000部を発行している。平成24年度中に49ヶ国より1,525編の投稿原稿があった。同年発行の第42巻には226編が掲載され、平成24年度の採用率は14.8%であった。

2011年11月よりオンライン・ファーストでの出版を開始している。オンライン・ファーストの出版により号の出版を待たずに論文ごとの電子版の出版が可能となり、掲載までの期間は平均6ヶ月と短縮できた。オンライン・ファーストに掲載された論文は、電子版出版は正式な出版と認められる。DOI (Digital Object Identifier) のコードにより、頁なしでも引用可能である。2012年のオンライン・ファーストの出版による論文数は、Review : 27編, Original : 154編, Case Report : 151編, Short Communication : 4編, How to do it : 20編, Letter to the Editor : 1編となっている。

引用文献について

2011年のImpact factorは、1.224まで上昇した。2012年は、Vol.40 (2010年)の論文掲載数が217編、Vol.41 (2011年)は掲載待ち原稿を減少させるために、前年の1.5倍の314編を掲載したため若干減少することが予想されている。

Vol.40 (2010年)、Vol.41 (2011年)のReviewの被引用回数は、167回 (平均2.49回)、Originalの被引用回数は、168回 (平均0.91回)となっている。

これらの結果から、更なるImpact factorの上昇を目指すには、Review・Originalの掲載数および被引用回数の増加が必須との見解から代議員に本年もReviewの執筆依頼をさせていただいた結果、95名から執筆いただけることとなっている。今後も継続して執筆依頼をさせていただく予定である。

代議員の先生方には、教室の先生方が投稿される際には、本誌を引用いただくよう是非お願いしたい。

平成18年度研究助成委員会が廃止され、本委員会が研究奨励賞の授賞者選定を引き継ぎ行うこととなった。そして本年度授賞者を下記の如く決定させていただいた。

最後に投稿原稿数の増加とともに編集委員並びに代議員の負担も年々大きくなっており、この場を借りて厚くお礼申し上げたい。

第19回研究奨励賞授賞者 5名

渡邊 昭博 (九州大学大学院 消化器・総合外科)

Effect of intra-abdominal absorbable sutures on surgical site infection 42:52—59

奥山 稔朗 (福岡市立病院機構 福岡市民病院)

Prognostic effects of oral anti-cancer drugs as adjuvant chemotherapy for 2 years after gastric cancer surgery 42:734—740

中桐 伴行 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器外科学)

Lung function early after lung transplantation is correlated with the frequency of regulatory T cells 42:250—258

森前 博文 (名古屋大学大学院血管外科学)

Cost disparity between open repair and endovascular aneurysm repair for abdominal aortic aneurysm: a single-institute experience in Japan 42:121—126

伊藤 心二 (九州大学大学院 消化器・総合外科)

Zero mortality in more than 300 hepatic resections: validity of preoperative volumetric analysis 42:435—440

掲載原稿種別表

年次	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97
巻数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
投稿数	119	102	142	164	131	151	179	197	208	275	268	322	339	419	443
掲載数	95	89	83	76	87	119	116	119	120	107	206	222	211	212	245
採用率 (%)	79.8	87.3	58.5	46.3	66.4	78.8	64.8	60.4	57.7	38.9	76.9	68.9	62.2	50.5	55.3
Editorial	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
Review	5	4	12	4	6	5	7	6	1	7	1	5	5	3	2
Original	75	77	50	44	47	71	59	67	67	59	107	106	101	82	120
Case Report	0	0	12	19	25	33	44	38	47	37	89	93	88	99	97
Short Communication	10	5	7	9	6	6	2	7	5	3	7	8	5	9	9
How to do it	3	3	1	0	3	4	1	1	0	1	2	10	12	7	10
Others	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	12	0
Impact Factor								0.21	0.223	0.188	0.163	0.118	0.171	0.209	0.233
年次	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
巻数	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
投稿数	429	438	424	509	607	667	623	566	926	948	1099	1232	1165	1245	1525
掲載数	281	271	239	247	243	214	238	216	231	235	231	220	217	314	226
採用率 (%)	65.5	61.9	56.4	48.5	40.0	32.1	43.9	38.2	24.9	24.7	21.0	17.8	18.6	25.2	14.8
Editorial	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0
Review	1	1	4	2	3	0	8	13	5	10	11	19	37	30	13
Original	102	100	97	86	88	76	102	102	102	75	85	74	76	108	93
Case Report	152	145	129	142	146	134	113	91	109	137	120	106	91	161	102
Short Communication	6	9	2	6	2	2	2	1	1	2	6	4	2	5	3
How to do it	11	14	7	11	4	2	13	8	10	10	5	15	7	9	13
Others	0	1	0	0	0	0	0	1	4	1	3	2	2	0	2
Impact Factor	0.303	0.379	0.356	0.480	0.501	0.528	0.553	0.478	0.698	0.679	0.804	1.050	1.057	1.224	
投稿数内訳															
Original	145	171	149	166	196	222	174	146	232	264	297	366	357	416	542
Others	284	267	275	343	411	445	449	420	671	683	807	873	809	837	983

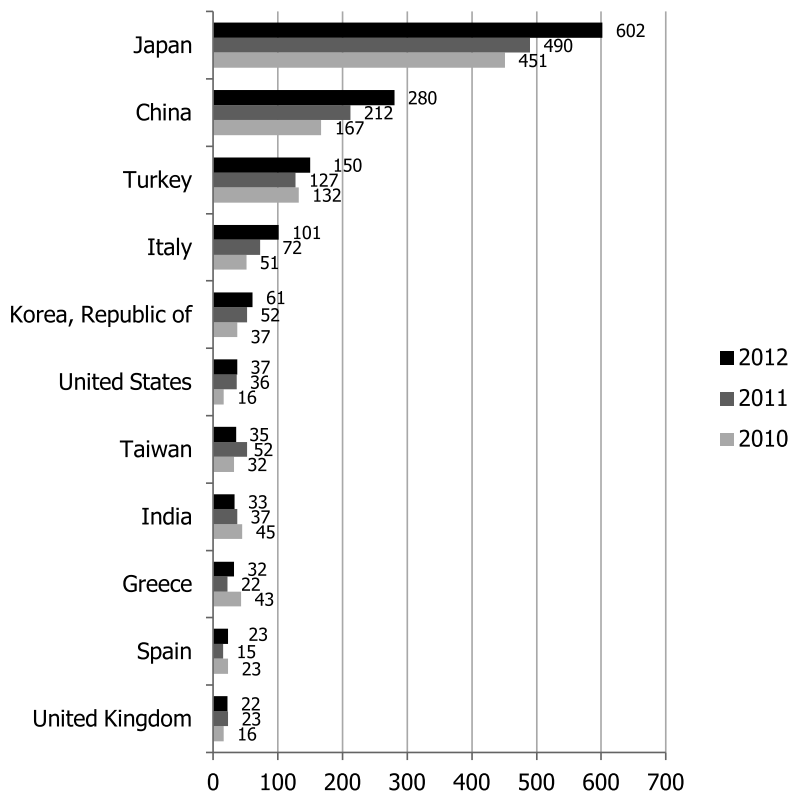
1. 論文種類別 投稿数 (投稿日による集計)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
Case Report	626	618	703	747	666	738	841
Clinical Original	181	196	240	294	299	341	471
Experimental Original	49	68	51	66	56	69	71
Invited Review Article			10	19	11	4	13
Review Article	26	16	29	31	58	26	55
How To Do It	23	28	35	39	44	45	46
Letter to the Editor	6	9	11	9	12	10	9
Short Communication	12	9	18	22	18	12	15
Other	3	4	2	5	1		4
総計	926	948	1099	1232	1165	1245	1525

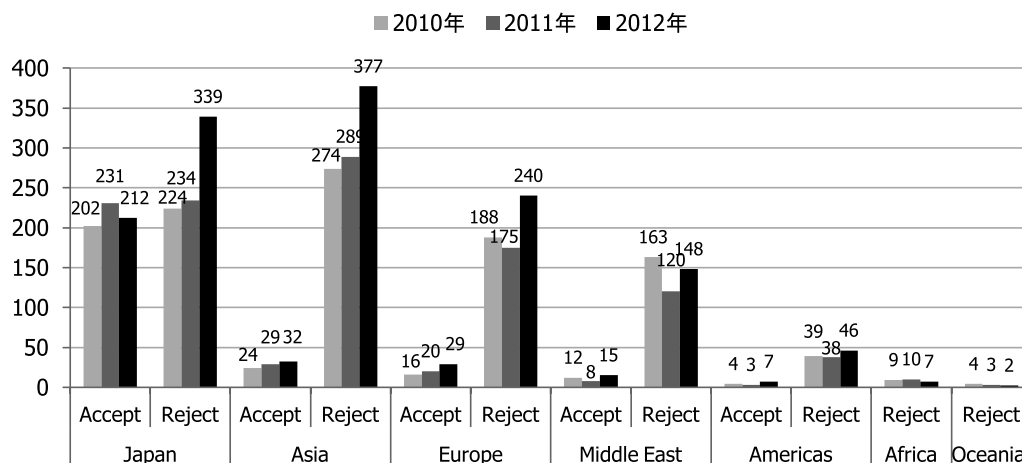
2. 論文種類別 判定結果と採択率 (最終判定日による集計)

	2010年			2011年			2012年		
	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率
Case Report	133	545	19.6%	128	563	18.5%	104	740	12.3%
Clinical Original	66	220	23.1%	98	204	32.5%	123	297	29.3%
Experimental Original	16	48	25.0%	20	42	32.3%	20	48	29.4%
Invited Review Article	10		100.0%	5		100.0%	7		100.0%
Review Article	21	31	40.4%	15	15	50.0%	21	23	47.7%
How To Do It	9	30	23.1%	20	29	40.8%	12	37	24.5%
Letter to the Editor		12	0.0%	1	7	12.5%	3	2	60.0%
Short Communication	2	14	12.5%	4	9	30.8%	5	10	33.3%
Other	1	1	50.0%					2	0.0%
総計	258	901	22.3%	291	869	25.1%	295	1159	20.3%

3. 国別 投稿数トップ10 (投稿日による集計)



4. 地域別 判定結果 (最終判定日による集計)



5. カテゴリー別 判定結果 (最終判定日による集計)

➤ Case Report

	2010年		2011年		2012年	
	Accept	Reject	Accept	Reject	Accept	Reject
Colon/Rectum	20	115	19	93	14	167
Stomach/Duodenum	19	93	13	79	10	117
Liver	21	56	19	74	16	90
Lung/Mediastinum	22	61	16	87	12	87
Pancreas	9	41	9	47	9	69
Bile ducts/Gall bladder	6	46	15	44	7	61
Cardiovascular	13	44	17	33	18	58
Vascular (peripheral/vein)	8	39	10	45	6	45
Thyroid/Head and neck	3	29	8	32	3	37
Pediatric surgery	2	26	2	9	9	37
Plastic surgery	5	20	2	18		34
Breast	10	11	6	26	1	30
Esophagus	10	21	9	27	12	29
Adrenal gland	1	18	1	15	1	16
Anus	1	7	1	9		14
Portal hypertension		5	1	6	2	9

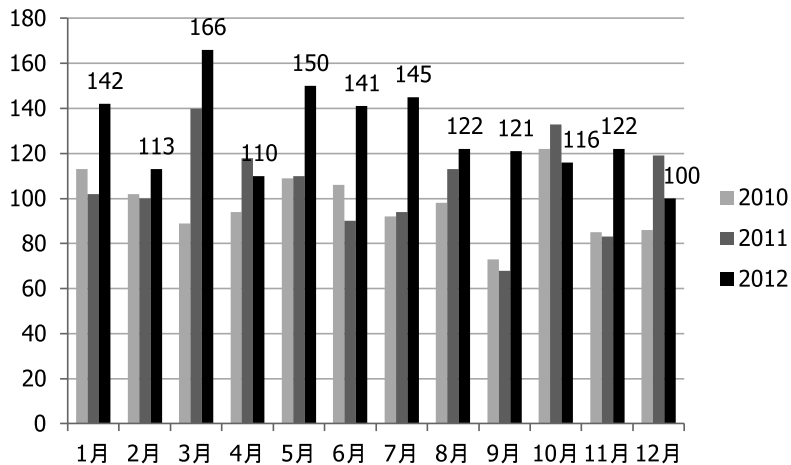
➤ Clinical Original

	2010年		2011年		2012年	
	Accept	Reject	Accept	Reject	Accept	Reject
Colon/Rectum	17	46	23	38	28	51
Stomach/Duodenum	7	27	10	23	14	36
Liver	8	25	10	24	21	36
Lung/Mediastinum	14	30	12	15	17	30
Bile ducts/Gall bladder	2	16	1	24	6	30
Breast	1	12	5	12	5	23
Plastic surgery	1	10	1	15	3	22
Thyroid/Head and neck	5	10	5	14	11	21
Pancreas	5	11	7	11	12	21
Pediatric surgery	1	6	2	6	2	17
Cardiovascular	9	13	5	13	8	12
Vascular (peripheral/vein)	3	17	6	11	7	11
Esophagus	3	10	9	11	6	8
Anus	2	4	3	2	2	5
Adrenal gland		2	1			4
Portal hypertension	1	2		3	3	3

➤ Experimental Original

	2010年		2011年		2012年	
	Accept	Reject	Accept	Reject	Accept	Reject
Lung/Mediastinum	3	6	3	1	3	9
Liver	4	9	3	11	5	9
Vascular (peripheral/vein)		3		3	3	7
Stomach/Duodenum	2	5	2	8	3	6
Colon/Rectum	3	9	6	9	4	6
Cardiovascular	1	6	1	3	4	4
Pancreas		1	3	2	2	3
Portal hypertension		1				2
Breast	1	1				2
Esophagus	1	1	1	2	1	2
Plastic surgery		4		3	1	1
Thyroid/Head and neck		2	1	1		1
Bile ducts/Gall bladder	1	2	2	3	1	1
Pediatric surgery		2			2	
Adrenal gland				1		
Anus		1				

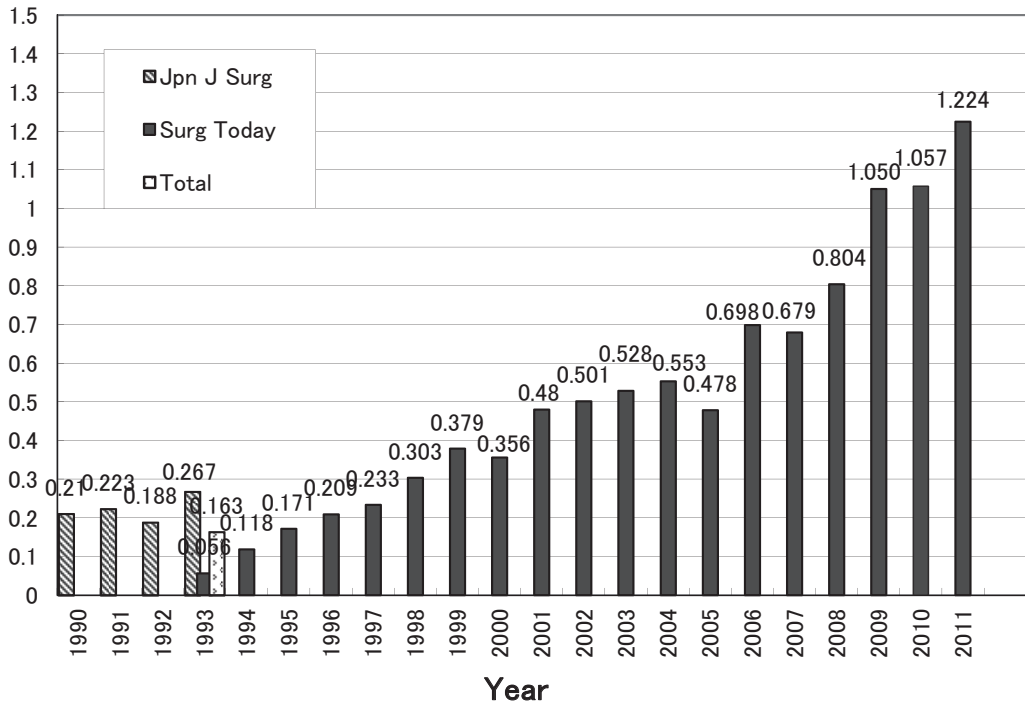
6. 月別投稿数



以上

ST インパクトファクターの推移

ST Impact Factor



9. 臨床研究推進委員会

委員長 桑野 博行

委員会を7月2日、10月31日、2月22日に開催し、臨床研究セミナーを計画するとともに、外科領域においてエビデンスに基づいた医療を実践すべく臨床研究を検討した。

1. 平成24年度厚生労働科学研究費補助金へ6件を申請したが、1件も採用されなかったことをふまえ、平成25年度厚生労働科学研究費補助金へ以下の1件を申請した（研究課題「中心静脈カテーテルの挿入方法の違いによる合併症の発生状況とコストの実態把握」）。今後、採用されやすい学術的重要なテーマや医療経済に寄与するテーマを選択して申請を行っていく予定である。
2. 平成21年度通常総会の議決を経て、同日より施行した「外科臨床研究の利益相反に関する指針」の施行に伴う各種の具体的な運用状況について検討した。
なお、利益相反委員会の提案にもとづき、「外科臨床研究の利益相反に関する指針」を「外科研究の利益相反に関する指針」と改訂した。

【指針改訂ポイント】

- 1) 臨床研究に限らず、会員によるあらゆる研究を対象にした。
- 2) 開示・公開すべき事項の変更と3項目追加した。
 - ・企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職等の兼業（変更：アンダーライン）
 - ・訴訟等に際して企業や営利を目的とした団体から支払われる顧問料及び謝礼
 - ・企業や営利を目的とした団体からの研究員等の受け入れ
 - ・企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座
- 3) Q & A の追加・変更
3. 本会独自補助と若手外科医による研究のサポートを検討し、25年度より「日本外科学会臨床研究助成」（500万1件）、「若手外科医のための臨床研究助成」（100万5件）を実施することとする。
4. 臨床研究セミナーの重要性を鑑み、本セミナーの参加は外科専門医制度における研修実績（5単位）となる。平成24年度に開催された第9回の臨床研究セミナーは、544名の参加であった。
第10回臨床研究セミナーを下記の如く4月13日に開催予定である。今後、開催回数を増やすなど継続審議中である。

第10回臨床研究セミナー

日 時：平成25年4月13日（土）8：30～11：30

（第113回日本外科学会定期学術集会3日目）

場 所：福岡国際会議場3F（第4会場（メインホール））

【プログラム】

開会の挨拶 桑野 博行 群馬大学大学院病態総合外科
（臨床研究推進委員会委員長）

第1部 臨床研究推進：日本外科学会の取り組み

國土 典宏 東京大学大学院肝胆膵・人工臓器移植外科
（日本外科学会理事長）

第2部 臨床研究のあり方

司会：赤澤 宏平 新潟大学情報科学・統計学分野

馬場 秀夫 熊本大学大学院消化器外科

コメンテーター：竹内 正弘 北里大学薬学部臨床医学（臨床統計学・医薬開発学）

1：外科医のための統計学

森田 智視 横浜市立大学臨床統計学・疫学

2：外科臨床試験の現状と課題

山中 竹春 国立がん研究センター東病院臨床開発センター生物統計学

3：NCDと臨床研究

後藤 満一 福島県立医科大学臓器再生外科学

4：「臨床研究における利益相反」に対する理解と誤解

土岐祐一郎 大阪大学大学院消化器外科学

第3部 外科臨床研究の現況

司会：瀬戸 泰之 東京大学大学院胃・食道外科
(臨床研究推進委員会副委員長)

松居 喜郎 北海道大学大学院循環器・呼吸器外科学分野

1：小児外科：神経芽腫のグループ研究と臨床研究

池田 均 獨協医科大学越谷病院小児外科

2：消化器外科：消化器外科領域における臨床研究の現況

掛地 吉弘 神戸大学大学院食道胃腸外科

第4部：外科臨床研究成果の国際的発信

司会：笹子三津留 兵庫医科大学上部消化管外科

外科領域における臨床研究推進と日本外科学会英文誌“Surgery Today”の役割

澤 芳樹 大阪大学大学院心臓血管外科

(英文誌編集委員会委員長，臨床研究推進委員会副委員長)

特別発言

北村惣一郎 国立循環器病研究センター名誉総長

総括・閉会の挨拶

上本 伸二 京都大学大学院肝胆膵・移植外科
(次期日本外科学会定期学術集会会頭)

1) 利益相反委員会

委員長 桑野 博行

本委員会は外科臨床研究の利益相反に関する指針にもとづき、臨床研究推進委員会のもとに新たに平成21年度新設された委員会である。

本委員会は、指針に基づき、役員等から提出された利益相反自己申告書の管理、利益相反自己申告書に対して、疑義もしくは社会的・法的問題が生じた場合の対応等を目的としている。

委員会を7月2日、10月31日、2月22日に開催し、本委員会の目的の確認、提出された利益相反自己申告書を検討した。なお、役員等の利益相反自己申告書対象154名全員から提出され、特に問題が生じる

ものはなかった。

役員等の利益相反自己申告書は外科学会事務所に厳重に管理している。

なお、指針違反者に対する措置に関して検討した結果、本指針に瑕疵がないように運用の手続（外科学研究の利益相反に関する指針違反者に対する措置に関する規則案を作成した（定款委員会報告参照）。

10. 国際委員会

委員長 前原 喜彦

1. 国際委員会情報について

本会と密接な関連がある国際学会ならびに主要国の外科系学会の最新情報を逐次整理して、日外会誌上に随時掲載している。

2. 外国人名誉会員について

外国人名誉会員の推薦について、第1号議案で報告のあった Stig Bengmark 教授を推薦した。

3. ドイツ外科学会との若手外科医の学術交流制度について

本会とドイツ外科学会とでそれぞれの学術集會に日本側、ドイツ側から推薦のあった若手外科医を1名ずつ招聘し、学術発表の機会を与える交流である。昨年開催された第129回ドイツ外科学会には馬場 祥史 正会員（熊本大学消化器外科）が参加した。本年の第130回は播本 憲史 正会員（九州大学消化器・総合外科）が参加される。ドイツ側から第113回には、Joachim Andrassy 先生（Dept Surgery, Klinikum Grosshadern, Ludwig Maximilians Univ, Germany）が参加される。

4. American College of Surgeons (ACS) との若手外科医の学術交流制度について

本会ならびに ACS Japan Chapter と ACS とでそれぞれの総會に日本側、ACS 側から推薦のあった若手外科医を1名ずつ招聘し、学術発表の機会を与える交流である。昨年開催された第98回 ACS には小松 周平 正会員（京都府立医科大学消化器外科）が参加し、本年の第99回は、伊藤 心二 正会員（田川市立病院）が参加される。ACS 側から第113回には、Quyen Chn 先生（LA State Univ Health Science Center, USA）が参加される。

5. Society of University Surgeons (SUS) との交流について

従来から交流を行ってきた SUS については、国際委員会が交流の窓口となっている。今年2月に開催された Academic Surgical Congress では、本会から8演題が受け入れられた。

6. デベロピングカントリーの外科医との交流（トラベルgrant）について

第93回総會より実施されたこの制度は、第94回総會の際から本会の正式事業として、20～30名に対して一人10～15万円の旅費を補助している。本年度も、選考に際しては会頭のサポートに徹した。

選考時に考慮すべき要件（覚書き）

- 1) 地域性
- 2) 研究発表の分野
- 3) 複数回の応募（当選している場合と、応募するも落選している場合が考えられ、前者は選考から外し、後者については選考の対象とし、できれば選出する）

7. International Federation of Surgical Colleges について

I.F.S.C に関しては、昭和55年度より再加入し交流を開始しているが、今村正之名譽会長が対処している。その事業としては各国外科学会の情報の収集、分析、WHO の諮問に対する提案、発展途上国外科学会に対する助言と外科医の短期間派遣などの援助を行っている。

8. 研修証明書（Certification）発行について

平成4年度より、本会の認定施設において研修を行った海外からの留学医師に対して標記を授与している。規定は下記の通りである。

海外からの留学医師に対する研修証明書（Certification）規定

- 1) 本証明書は、海外からの留学医師が、外科学会の認定する施設において一定期間の研修を終了したことを証明するものである。
- 2) 外科学会国際委員会は当該施設より提出された一定書類に従い本証明書の発行を行う。
- 3) 研修期間は6カ月以上とする。
- 4) 本証明書には、外科指導責任者の署名および外科学会会長の署名を必要とする。
- 5) 本証明書発行に必要な費用（5,000円）は被証明者負担とする。

9. 国際学会の交流状況・交際費について

本会の代表として会頭が国際学会に招待された場合には、現在、韓国外科学会と Society of University Surgeons のみ、旅費が支給されない場合に限り、本会が会頭に1,500ドルを支給している。

今後は、学会名は特定せず「海外学会」とし、出席者も「理事長・会頭あるいは本会としての代表者」と幅広くして、掛る経費の実費を支払うこととした。